

令和4年度 環境活動スタート事業

1 実施校

福島大学附属中学校（1学年）

2 実施日

令和4年7月11日（月曜日）

3 内容

「The Future We Want=私たちが望む未来=」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

講義を受ける前までは、地球温暖化について、自分ごとではなく他人事として見ていましたが、講義を受けてからは、自分事として見ていき自分ができることをし、地球温暖化を防いでいきたいです。

今まで、他人事だと思っていた地球温暖化、SDGsとのキョリが、非常に近くなりました。僕の心に強く残ったのは、ケンタロさんの「この子たちの目を見て、もうすぐ君たちの日常がこわれるんだっていえるかい？」という言葉です。

絶対にそうさせないために、自分でできることを。そう心に決めました。

キリバスに対する熱意がとても感じられた。ここまで地球温暖化のことを真剣に考えている人は初めて見た。地球温暖化のことを人災だと言った時は驚いたが確かにそうかもしれないと感心した。私も少し世界に気をつけて生活していきたいと思う。

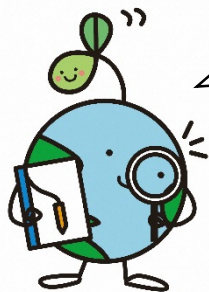
地球温暖化は、遠い国だけで起こっているのではなく、僕たちにも関係があり、僕たちの努力が地球をなおしていく一番よいものだと感じた。また、「命」を改めて大切なものと感じることができた。「命」を食べ物として頂いている以上、粗末にしては、絶対にいけないと思った。自分なりに改善策を生み出していきたい。

私たちが、豊かな暮らしをしているその先に、住んでいる場所を失うなどして悲しんでいたり苦しんだりしている人がいることがわかった。地球温暖化を少しでも、遅らせるために二酸化炭素の排出量を減らす取り組み、リサイクルなどをやってみようと思った。

講演を聞いて、私は、1つのあたりまえの行動が、地球や世界の人々を助けることができるのだと思いました。“地球温暖化”は、人や動物などの命を奪うことができてしまう。だから、私たちの普段の生活・暮らしを改めて、地球の危機を止めたいと思いました。

このことを生かして、家族などに教えて、多くの人が助け合って地球を救いたいです。

キリバスが、どんな場所なのか、地球温暖化でどんな影響があるのか、この二つを中心にした詳しいことがよく分かりました。地球温暖化で少ししか海面が上がっていないから実際に被害は出ていない、と思い込んでいましたが、実際の写真等を見て思っていた以上に大変な現状なんだなということが分かりました。少しでも地球温暖化を遅れさせるために食品ロスや節電などを意識していきたいと思いました。



福島県の地球環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- ごみの削減
- 地産地消

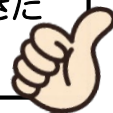
あまりごみを出さないために、繰り返し使うことの出来るものを使うようにした。また、スーパーでは自分が住んでいる地域で作られた食材を買うように心がけた。



- エアコンの設定温度を上げる
- シャワーの時間を短くする

部屋のエアコンの設定温度を26度に設定して、冷たい飲み物を飲んで節電をした。

シャワーの時間を短くしたりした。いつもより節電できたし、快適だったのでこれからも続けていきたいです。



- 命を無駄にしないこと
(最後まで食べる)

今までは、好き嫌いをたくさんしていたけど最後まで食べるようにした。命を考えたりして食べたら食わず嫌いを克服できました。これからも命にありがとうと思いながら食事をしたいです。



- 徒歩や自転車で移動する
- リサイクル

塾に自転車で行くようにしました。ペットボトルを回収機に入れたりしました。自分でも簡単に取り組めることが分かりました。これからも取り組んでいきたいと思います。



- 買い物時に本当に必要なものか考える
- 生ゴミをできるだけ少なくする
- 近くに行くのに車で行くのか考える
- ゴミの分別をきちんと行う

買い物の際に、この食材は、本当にいるのかを考えて買った。近くのスーパーに行くのに歩きで運動しながら行った。野菜をギリギリまで使って少しでも生ゴミの量が少なくなったと思う。これからも、今できることを続けて取り組んでいって、地球のために頑張りたいです。

